



変化する社会でたくましく伸びる幼児児童生徒

校長 谷 浩明

令和4年度も、早いもので7ヶ月が過ぎました。収束するかと淡い期待をした新型コロナ感染症も、減少傾向に底を打ち、寒さとともに第8波となってインフルエンザと一緒に流行するなどとも言われる状況にあります。これまで、皆様のご理解とご協力をいただきながら、新しい知見も参考にして感染防止に努め、学びを保障するための教育活動を工夫して参りました。幸いにも今年度は、昨年度に中止や延期とした校外活動も再開することができました。

9月には、県特別支援学校スポーツ交流大会であるTryスポーツが、3年振りに再開され、雨の中ではありましたが、陸上競技場のトラックやフィールドで練習成果を発揮して競うことができました。また、千厩分教室中学部「みなとモ」3年生が、千厩中学校3年生と一緒に、3年ぶりに東京方面に修学旅行に行くことができました。各校舎、分教室でも隣県や県内各地への修学旅行を実施し、異なる地域の文化や歴史、自然について調べ、実際に見て体験し、発表する貴重な学びの機会とすることができました。

10月を中心に開催された学習発表会「清明祭」では、コロナ対策にご協力頂きながら、各校舎、分教室で工夫を凝らした発表が行われました。今年度の清明祭のテーマ「みんなで 団結 笑顔で新しい時代へ！ ～楽しさいっぱい SEIMEI 祭～」の通り、躍動感あふれるステージや作品発表、販売活動などが行われました。千厩分教室小学部「ハピきら」では、保護者の方と千厩小学校児童の前で、体育館のステージをいっぱいを使って、自分たちが毎日がんばって取り組んでいることを実際に演じて発表をしました。ダンスを披露した際には会場からアンコールが湧き起こり、最後は、小学校のみんなと一緒にダンスを踊って、感動的なフィナーレとなりました。

コロナ対策を取りながら、制約の元で行事を準備する中で、新しい発想や工夫が生まれて、新しい形の行事や学習活動が展開されてきています。幼児児童生徒のみんなも、感染症対応などの必要な行動を身に付けながら、着実に成長した姿をみせてくれています。これから残り5か月間、幼児児童生徒みんなの一日一日を大切にしながら、それぞれの進路や未来に向けて、学びを一層深めていくことができるように、職員一同取り組んで参ります。

## 第2回学校運営協議会

10月6日(木)山目校舎を会場に、第2回学校運営協議会が開催されました。運営協議委員の皆様には、山目校舎清明祭予行の一部を見学していただきました。目を細め熱心に見入っている様子でした。今回は、一関保健福祉部と話し合い「福祉避難所」設置に向けて動き出したことや、来年度は希望者を募り、防災教育と関連付けながら学校宿泊体験をしてみたいと考えていること、備品についての確認等を行い、今後の活動も運営協議委員の方々からの協力を得て行われることが確認されました。次回は2月を予定しております。

## 校内研究 全校研究主題『一人一人の豊かな学びにつながる授業実践』

令和 2・3 年度の研究では、「新学習指導要領に対応した授業づくり～幼児児童生徒が主体的に学ぶ姿を目指して～」と題して、新学習指導要領について学びを深めるとともに、授業づくりにおいては、児童幼児生徒の「主体的に学ぶ姿」を導き出すことを目指しました。今年度は、前回研究の成果や課題を踏まえ、「一人一人の豊かな学び」を目指すために、各学部・分教室でテーマを決定し、それぞれの幼児児童生徒の豊かな学びを目指し、2 年次研究の 1 年次目として授業実践や事例研究に取り組んでいます。

### 【各研究グループの研究テーマ】

各学部・分教室	研究テーマ
本校舎幼稚部	幼児同士の関わりを促す環境の工夫
本校小学部	思考力・表現力を高めるための授業実践
本校舎中学部	ICT を活用した、個々の学びと協同的な学びの充実を目指して
本校舎高等部	高等部卒業後の生活につながる授業づくり
山目小なのはな	豊かな生活につなげる授業づくり ～各教科等を合わせた指導の授業改善をとおして～
山目小わかば・中学部	集団学習における、人やものとの関わりを促す授業づくり ～わかば・中学部合同の集団学習をとおして～
あすなる分教室	人との関わりを広げる授業づくり ～集団学習の充実を目指して～
千厩小・中学部	学びを実生活に生かす授業づくり ～子どもの次のステージを想像して～



今年度は研究授業や授業研究会を積極的に行い、授業改善につなげるよう取り組んでいます。各グループで研究授業や授業研究会を実施し、一人一人の豊かな学びにつながる授業改善を推進しています。また、他グループの授業や研究会に参加することで、学部間の実態共有や授業改善のヒントを得る場、アイデアの共有や意見交換の場としています。9 月に行

われた山目校舎のわかば・中学部グループの研究授業では、異年齢の集団学習「にこにこタイム（ポッチャ）」に取り組みました。研究会では、「年齢や実態の様々な児童生徒でも楽しめるポッチャのオリジナルルールのアイデア」について、多角的な視点からたくさんのアイデアがでました。11 月はあすなる分教室、12 月は本校舎高等部、山目校舎なのはなグループ、千厩ハピきら、みなともと研究授業、授業研究会を予定しています。【写真:授業研究会の様子】

